

くるみ乳児院だより 第23号

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 発行責任者 小山 道彰

〒538-0054 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL:06-6180-5062

後援会からのお願い

『2022年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にす本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、皆様のご協力で、すでに12施設程の建て替えを、することができました。国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

今後も大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。

＊個人会員 1口 3,000円 ＊団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院（06-6180-5062）までご連絡ください。

『ショートステイ事業』

（大阪市の事業）

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をとまなかたちでお預かりしています。利用年齢は2歳未満です。新型コロナウイルスの関係でお預かりできないこともあります。詳細についてはお問い合わせください。

これからの行事予定

1月 初詣

2月 冬のおでかけ

3月 春のつどい

◆くるみ乳児院のめざすもの◆

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本にしています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。



手作りおせち おいしかったね



新年あけましておめでとうございます



福祉のひろば

あなたも福祉が好きになる！！
そんな1冊を手にとってみませんか？



裏面にはレシピも！

職員も福祉のひろばを使って
学びを深めています。

興味のある方は下記まで問い合わせください。

〒538-0054
大阪市鶴見区緑1丁目18-30
TEL 06-6180-5062
くるみ乳児院 福祉のひろば係：渡邊

ご寄付ありがとうございます

一般社団法人 生命保険協会 大阪府協会様 掃除機
多田順一郎様 さつまいも
大阪市卸売市場 大阪本場青果卸売協同組合 みかん
株式会社 万代様 万代基金クリスマスプレゼント購入費配分事業



2022年度福祉まつり

テーマ『みんなで築こう！平和で安心して暮らせるまちを』
サブテーマ『守ろう暮らしと命を。つなげよう平和への思いを』
今年度はコロナ禍でも地域の皆様とのつながりを持てるような催しをとということで、乳児院からは展示を行いました。
地域に根付いた施設となっていけますよう、今後ともよろしくお
願いいたします。



子どもたちにちぎり絵で地球を
作ってもらいました！



地域の皆さまはもとより、関係諸機関の皆さまともども、旧年中はお世話になりありがとうございました。

さて、新年を迎え、抱負を語るときに常に抱いていることは、どんな状況下にあってもこどもを守ることが一番であると願っています。そこを支える職員がいなければそれすらできないことを考えると、その職員をも守ることができる施設でなければと思います。その施設をさらに守ることができるのは最終的には行政の責任だと考えます。

ここ数年にわたるコロナ感染対策こそが重要なのではないのでしょうか？

ある障がい者施設では、利用者がコロナ感染しても入院できない。障がいがあるため受け入れが困難であるという理由でした。そのため、施設での隔離状態が続けられ、その職員が疲労困憊していても24時間体制で支援するという事態にまで至りました。それはまさに、「利用者のため」、そこに尽きると思います。その思いだけで動いていることこそが福祉の原点でもあると思います。福祉施設職員が不足している、配置が少ない現状こそが、拍車をかけている。そこにこそもっと目をむけるべきではないかと。

乳児院とて同様です。クラスターが発生すると職員が次々と感染し残った職員でこどもを守らなければならない。勤務自体も残った人数でまわす。超過密な勤務にならざるをえない。あまりにも福祉施設職員の配置の貧困さを改めて痛感しているところです。

満面の純粋な笑顔、嬉しい、楽しい、こどもの表情を絶やさない施設。今年こそはともっと思いながらも切に望むことです。職員一同、そのためにもさらに切り替えて頑張っていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



くるみ乳児院

施設長 小山 道彰

職員 一同



秋の遠足～秋はわくわくがいっぱい！～



季節は秋になり、子どもたちとバスに乗って富田林市にあるサバーファームにお芋掘りをしに行ってきました。バスの中ではみんなで歌を歌ったり、手遊びをして楽しい時間を過ごしました。出発前から子どもたちは「お芋ほりいくの」と楽しみにしていて、いざお芋掘りが始まると手袋をつけてやる気いっぱいの子ども、怖くなってしまい泣き出す子、お砂あそびをしている子もいました。たくさんとれたお芋は持って帰って、お味噌汁に入れて、子どもたちも「おいしいね」「みんなでとったお芋だね」と思い出をふり返りながらみんなでおいしく食べました。

保育士 にしむら



たくさんさつまいもが採れました🍠



大きなさつまいもでてるかな？



大人も子どもも一緒に
楽しく、頑張りました！



七五三 ～元気いっぱい楽しく幸せに成長してくれることを願って～

今年は4名の子どもたちが七五三の主役で、11月14日に七五三のお祝いをしました。去年に引き続き、社会ボランティア団体『イチゴイニシアチブ』の方が用意して下さった着物を選んで着せてもらい、どの子も「おおきくなったね」「似合ってるね」と少し照れた様子でした。準備が整い、みんなでタクシーで神社まで行き、ご祈禱をしてもらいました。慣れない着物で頑張ったあとは、神主さんにたくさん美味しそうなお菓子をもらい、目を輝かせていました。乳児院に帰ってから他の子どもたちに着物をみせて回り、「かわいいでしょ」「かっこいいでしょ」と得意げにしている姿がとてもほほえましかったです。

保育士 にしむら



とっても可愛いね！
似合っているよ！

アンパンマンの
お祝いランチです♪



クリスマス会

12月24日にクリスマス会をしました。新型コロナウイルスの影響で、保護者の方を招いての開催には至りませんでしたが、職員と子どもたちで笑顔溢れる楽しいクリスマス会になりました。

たんぽぽルームではクリスマスソングを歌いながら、大人と子ども1対1でベビーマッサージを行ったり、絵本の読み聞かせを行いました。ベビーマッサージの際、「〇〇くん」と名前を呼ばれて、可愛い笑顔を見せてくれる子や気持ちよくてウトウトしている子がいました。最後にはサンタさんが来てくれて音の鳴る絵本をプレゼントしてくれました。

もも・さくらルームではピアノの演奏に合わせて「ジングルベル」をみんなで歌い、クリスマスカードの制作をしました。子どもたちが作ったクリスマスカードは保護者の方にプレゼントしたいと思います。元気いっぱいな歌声を聞くことができたり、一生懸命シールを貼っている姿に子どもたちの成長を感じることができました。

そしてもも・さくらルームにもサンタさんが登場し、はじめは怖くて泣いてしまう子や固まっている子もいましたが、一人ずつ名前を呼ばれ、プレゼントをもらうことができました。

子どもたちの笑顔をたくさん見ることができ、大人も子どもも楽しく幸せな時間となりました。

保育士 いちひら



おやつは
可愛いフルーツプレートでした♪



みんな真剣に絵本を聞いています



サンタさんの服を着た子どもたち
かわいかったです☆



プレゼントを届けに
サンタさんが来てくれました！



フィッシュボックを
届けてくれました



玄関には可愛いトトロ
サンタさんが！

